

区営住宅における 窓断熱等の効果検証を行います

杉並区は7月より、東京大学との協働で区営住宅における窓断熱等の効果検証を始めます。この検証で得られた結果は、今後の区営住宅の居住環境の改善や脱炭素社会の実現に向けた環境施策の充実等の検討に活用してまいります。

杉並区では33団地 計1,078戸の区営住宅を所有しており、目標使用年数は公営住宅法に基づき70年としています。住宅の長寿命化のために外壁や屋上部分の断熱工事を実施していますが、最も古い住宅でも築52年であり、改築までには約20年の期間があります。

その一方、昨今の急激な気温上昇に伴い、居住者の方々からは居室環境の改善を求める意見が寄せられており、良好な居室環境を確保するための対策を検討する必要があります。

しかし、区の知見だけで効果的な手法を検討していくことは難しいため、6月26日に東京大学と「区営住宅における窓断熱改修等の効果検証に関する協定書」を取り交わし、専門的な知見に基づく助言等をいただける体制を整えました。

7月以降、東京大学と試行錯誤しながら検証方法等を検討し、実効性のある効果検証を行っていきます。

■■■■ 効果検証 ■■■■

●目的

- ・区営住宅の居室環境の改善に有効な手法を検討するため
- ・区営住宅における今後の断熱改修等の方向性を検討するため
- ・民間の住宅等への展開など、脱炭素社会の実現に向けた環境施策の検討に活用するため

●検証期間（予定）

令和8年7月～8月（夏季） 及び 令和9年1月～2月（冬季）

●進め方

協定に基づき、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 まえ まさゆき 前 真之准教授及び前真之サステナブル建築デザイン研究室との協働で実施。

次頁の区営住宅の空き室を2部屋ずつ活用し、二重窓の設置により窓断熱改修を実施している居室と未実施の居室で効果検証を行います。

高井戸西二丁目アパート



善福寺三丁目アパート



【報道機関 問い合わせ先】

都市整備部住宅課：03-3312-2111（内線）3531

広報課報道係：03-3312-2111（内線）1575